

# 日モザンビーク経済界交流会 岸田総理による挨拶

日本、モザンビーク経済界の皆様、

- 日本国総理大臣の岸田文雄です。
- つい先ほどマプトに到着しまして、両国の経済関係の主役である皆様にお会いすべく、空港からこちらの会場に直行しました。
- 昨年8月のT I C A D 8において、私は、官民合わせて3年間で300億ドル以上の資金を投入し、アフリカ・ビジネスを最大限支援していくことをお約束しました。援助から投資へと潜在力を高めているアフリカのビジネス、そして、アフリカに関心を高めている日本企業をつないでいきたいと考えています。
- こうした流れの中で、日本政府として、3年ぶりに官民合同ミッションを再開させたのは、日アフリカ・ビジネスを、まさに現場で力強く前進させていくためであります。

- アフリカ南東部のゲートウェイであり、アフリカ有数の天然ガス埋蔵量や重要鉱物資源を誇るモザンビークとの関係を、日本は重視しています。明日のニュシ大統領との会談では、日本企業によるモザンビークへの投資の裾野を拡大し、重層的なビジネス関係を構築するための協力についても取り上げたいと思います。
- モザンビーク経済界の皆様方には、日本企業の皆様を温かくお迎え頂き、感謝申し上げます。今次ミッションが、両国の経済関係の可能性を最大限に引き出し、日本から一層の投資が促進されることを確信しております。
- この官民合同ミッションを通して蒔かれた具体的なビジネスの種が芽吹くように、引き続き、政府としても民間の動きを力強く後押ししていくことをお約束します。
- 皆様の交流が実りあるものとなりますよう、そして、二国間の経済関係が益々深まりますよう期待します。ありがとうございました。

(了)